

◎ 競技役員について

- ・ 競技役員打ち合わせを8:35(予定)より競技役員控室で行います。各チームからの協力役員の方は必ず集合をお願いします。

◎ スタート台について

- ・ バックプレート付きスタート台を使用します。水深が1.40mであることを十分に認識し、安全面について各チームで指導を徹底していただくようお願いします。
- ・ バックプレートの調整は各選手が行ってください。

◎ バックストロークレッジの使用について

- ・ レッジの高さの調整は各選手が行ってください。
- ・ レッジを使用しない選手は、スタート前に自レーンの競技役員(折返監察員)に申し出てください。

◎ ゴールタッチおよび計時について

- ・ 計時は全自動装置を使用します。ゴールタッチはタッチ板の有効面に確実に行ってください。
- ・ バックアップは半自動装置を使用します。

◎ 競技進行について

- ・ 予選、決勝ともオーバーザトップ方式(次組がスタート後に自レーンから退水)で進行します。  
( \* 背泳ぎとリレー競技は、退水後に次組のスタートとなります)
- ・ 招集所から入場した後は、競技役員が選手の氏名を確認することはありません。  
各チームにおいても、選手に自分のレーンを事前に確認しておくよう指導をお願いします。

◎ 抽選について

- ・ 決勝進出について予定人員を超えた場合ならびに補欠が同記録で複数いる場合は、抽選を行います。該当する場合は館内放送で呼び出しますので、選手本人と引率コーチは速やかに本部席までご集合ください。なお、放送後15分以上経過しても集合されない場合は、権利放棄とみなすことがあります。

◎ 棄権届について

- ・ レースに出場しない場合は、必ず 本部席(ひな壇)のカゴへ棄権届を提出してください。
- ・ 決勝レースは原則として 棄権できません。  
やむを得ず棄権する場合は、その競技の予選終了後1時間以内に棄権届を提出してください。  
それを受け、補欠選手との入れ替えを決定し、速報掲示板にて発表します。

◎ 決勝競技の招集について

- ・ 補欠選手の招集については選手と引率コーチの判断に委ねるものとし、本部側は特に定めません。
- ・ レースが続いていて次の招集に遅れる場合は、必ずその旨を招集員に申し出てください。  
申し出がない場合、棄権または失格として扱い、集合している補欠選手と入れ替えることがあります。

◎ リレーオーダーについて

- 提出されたリレーオーダー通りのメンバーで招集所に来てください。  
(決勝進出の場合)  
決勝レースもリレーオーダーを提出してください。予選と同じオーダーの場合も提出が必要です。

- ★ 上記事項を十分にご確認いただき、参加選手への伝達・指導の徹底をよろしくお願いいたします。
- ★ その他記載していない事項については、日本水泳連盟競技規則に従うものとします。